

平成28年3月14日

保護者の皆様へ

京都市立音羽川小学校
校長 松村 茂

平成27年度 後期学校評価について

先日はお忙しい中アンケートにお答えいただきありがとうございました。

集計の結果がまとまりましたので報告いたします。

今回は、児童・保護者・教職員それぞれから実現度をたずねるアンケートになっています。

			よくできて いる	できている	あまりでき ていない	できてい ない	わからない
設問1	児童	夢や希望を持っていますか	64%	22%	8%	3%	3%
	保護者	お子さんは夢や希望を持っていますか	30%	52%	13%	3%	2%
	教職員	夢や希望を持たせる指導	28%	56%	8%	4%	4%
設問2	児童	自分からあいさつをしていますか	36%	42%	15%	5%	2%
	保護者	お子さんはすすんであいさつをしていますか	21%	52%	23%	4%	0%
	教職員	すすんであいさつをする指導	43%	50%	7%	0%	0%
設問3	児童	きまりを守っていますか	40%	41%	14%	4%	2%
	保護者	お子さんはきまりを守っていますか	21%	58%	16%	4%	0%
	教職員	きまりを守る指導	32%	54%	11%	4%	0%
設問4	児童	家では自分からすすんで学習していますか	28%	35%	24%	10%	3%
	保護者	お子さんの家庭学習は習慣化していますか	25%	47%	20%	7%	1%
	教職員	家庭学習が習慣化する指導	33%	50%	8%	4%	4%
設問5	児童	楽しく本を読んでいますか	55%	24%	12%	6%	3%
	保護者	お子さんは楽しく本を読んでいますか	31%	29%	26%	14%	0%
	教職員	楽しく本を読む指導	33%	54%	8%	0%	4%
設問6	児童	誰からも大切にされていますか	48%	22%	4%	3%	24%
	保護者	お子さんは誰からも大切にされていますか	52%	45%	1%	0%	2%
	教職員	誰からも大切にされる学級作り	30%	52%	9%	4%	4%
設問7	児童	勉強がよくわかりますか	44%	38%	10%	3%	5%
	保護者	お子さんは授業がよくわかるかといっていますか	25%	55%	12%	5%	3%
	教職員	よくわかる授業	24%	48%	12%	4%	12%
設問8	児童	学校に行くのが楽しいですか	54%	26%	9%	8%	3%
	保護者	お子さんは学校が楽しいと思っていますか	38%	48%	9%	4%	0%
	教職員	学校が楽しいと思う学級作り	26%	57%	9%	4%	4%
設問9	児童	早寝・早起きをしていますか	23%	33%	25%	17%	1%
	保護者	お子さんは規則正しい生活ができていますか	24%	53%	18%	5%	0%
	教職員	規則正しい生活の指導	32%	48%	12%	8%	0%
設問10	児童	困りごとがあれば誰かに相談をしていますか	41%	28%	14%	12%	5%
	保護者	お子さんは困りごとがあれば誰かに相談をしていますか	20%	63%	11%	2%	3%
	教職員	困りごとがあれば相談をするという指導	24%	60%	4%	8%	4%
設問11	児童	地域やPTAの行事に積極的に参加していますか	29%	24%	18%	13%	16%
	保護者	お子さんは地域やPTAの行事に積極的に参加していますか	16%	56%	20%	7%	1%
	教職員	地域やPTAの行事に参加する働きかけ	25%	46%	21%	4%	4%
設問12	児童	防犯や交通安全に気を付けていますか	64%	24%	4%	4%	4%
	保護者	お子さんは防犯や交通安全について意識が高いですか	24%	56%	17%	3%	1%
	教職員	防犯や交通安全についての指導	50%	50%	0%	0%	0%

この学校評価アンケートは、「学校教育目標」や「めざす子ども像」の具現化に向けた各種取組を、児童・保護者・教職員から見た実現度を比較することで、現在の学校の取組を評価して、今後の改善策を練り、学校運営や学級経営に生かすことをねらいにしています。

前期に比べると、おおむね同じような傾向が現れるという結果になりましたが、注目すべき点は次の3点です。

○前期保護者の方のマイナス評価合計が30%を超えた「あいさつ」「家庭学習」が、今回30%を下回りました。

これは、学校の取組を保護者の方にご協力頂いた結果、こどもたちのがんばりが進んだということだと思われます。

○子どもたちのマイナス評価合計は「地域PTA行事」で今回30%を超えました。

これは、前期にふれあい音羽川などの大きな行事が済んでしまったためと思われます。

○児童保護者間、児童教職員間、保護者教職員間の回答の差が、かなり多くの設問において小さくなりました。

これは、こどもたちは自分をより正しく見つめ、保護者の方は子どもたちをより深く見つめ、教職員は結果を含めた取組の検証を進めたからだと思われます。

以上のことから、今後も今回の結果に基づき、保護者の方のご協力のもと、検証を伴いながら取組を進めていきます。

また、自由記述欄のご意見につきましては、学年や学校で十分に検討いたしまして、今後の取組の参考とさせていただきます。